

平成 19 年 5 月 2 日

定期検査中の 2 号機における誤警報の発生について

東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

当所 2 号機は定期検査中ですが、平成 19 年 4 月 28 日午前 9 時 17 分、「中性子束高トリップ*¹」の警報が瞬時発生しました。

本事象は、起動領域モニタ系*²の制御盤取替作業を行っていた際、当該警報の発生を防止するために取り付けられたジャンパー線が、一時的に接触不良となり警報が発生したものと推定しておりますが、今後、原因について詳細に調査します。

なお、本事象は警報のみ発生したもので、原子炉内の全ての燃料は取り出されており、安全上の問題はありません。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 1 : 中性子束高トリップ

原子炉内の中性子量が多くなった場合に示す警報。

* 2 : 起動領域モニタ系

原子炉内の中性子量を計測する装置であり、原子炉の起動初期段階や停止時に使用する。